

3
月



園だより

令和4年2月25日
佛教大学附属幼稚園



「仏教保育3月のねらい」

ちえきぼう
智慧希望

園長 佐藤和順

「20年後を生きる力」

今年度も残りわずかとなりました。三寒四温を繰り返しながら、一步一步春に近づいています。3月は進学・進級に向けてのまとめの月です。

今月の保育目標は「智慧希望(ちえきぼう)希望をもち楽しく暮らそう」です。いつも希望を胸にもち、明るい明日の生活を目指して、よく学び、よく働き、すべての人のために楽しい社会を生み出すように努めることの大切さを感じてほしいと考えています。

この「智慧」とは知識・技術や情報量の多さを問題にするものではありません。経験したことや身につけた知識や技術を活かし、先を見通して問題を解決する力のことです。AI等の発展により現在の人類の想像を越えた時代が来ると言われています。これまでの知識や情報が役に立たない時代かもしれません。そのような時必要になるのが、新しい価値観を創出する、自分で課題を発見し、自分で解決しようとする力、他者に説明できる力です。これこそが「智慧」です。このような考え方は、現在の幼稚園の教育要領、小学校の学習指導要領等わが国の教育施策にも見て取ることができます。決まった力ではなく、子ども達が自分で考え、社会で活躍する20年後にも通用する力の基礎を育むという方向性が打ち出されているのです。

現代の子どもの育ちには、いろいろな体験をする機会の不足、他者とのかかわりの弱さ等も問題視されています。幼児期に友だちとかかわり、自分の五感を働かせしっかりと遊びこむことが、「智慧」の芽生えとなります。子どもにとって遊びは学びであり、その行動には何かしら意味があります。時として無駄に見えることもありますが、その重要性を理解し、子どもの遊びを大人が保障してあげることが大切です。

今年度もコロナ禍に振り回された1年でした。このような状況下でも子ども達は様々な経験を通してたくさんの成長をしました。この経験をいかして、新たなスタートを明るく笑顔で迎えられることを強く願っています。最後になりましたが、保護者の皆さまには1年間温かく見守っていただき、園の運営にご理解ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。この場をおかりしまして厚くお礼申し上げます。

当園を巣立った子どもが10年、20年先それぞれの場所で生き生きと「智慧」と「希望」をもって活躍してくれることを切に願っています。

